

現代教養学環



時代がどんなに変わっても心配がない、 生涯続くキャリアの基礎を完成させる

みなさんがこれからの時代に必要とする「生き抜く力、求められるスキル」を得るために、現代教養学環の学びがあります。
仕事が変わり、AIも登場し、ただ大学を卒業しただけの人間の居場所がどんどん少なくなる中で、どうすれば良いのか。
その解決策として、学部を飛び越え、文系・理系の区別なく、問題解決のための方法を身につけていくのが現代教養学環です。



1

教わるだけの“授業”ではなく、
未来の問題解決のための学び

授業を一方的に聞くのではなく、自分たちで
考えながら解決策を導き出していくのが
現代教養学環の学びの特色です。
教員は専門的な知識と学びのスタイルを
提供します。



2

一緒に学ぶメンバーが、
みんな「学びの友達」になる

グループワークやフィールドスタディを
共有する中で、仲間との関係が生まれます。
無理に友達をつくらうとする必要もなく、
学びのなかで友達が増えていきます。



3

問題解決の力を身につけ、
社会で“なりたい自分”になる

現代教養学環での経験と体験は、
自分の成長を自覚できる日々の連続です。
考えを表現できる、解決策を実行に移せる、
自信をもって社会で自分の力を試せる、
そんな自分になる4年間が過ごせます。

1年次

大学での学びの基盤を築き、
可能性を探る

2年次

知を組み合わせ、仲間とともに
社会課題に挑む

3年次

社会を相対化する視点で
もって、専門性を深める

4年次

知を統合して、現代社会の
課題を解決する

卒業後の主な進路

- 公務員 ● 一般企業(上場企業)・外資系企業 ● 学校職員 ● Jリーグチーム運営 ● スポーツ指導者
- 出版、広告 ● レコード会社/映画会社 ● 金融機関 ● 医療機関 ● NPO法人 ● 大学教員 ● 起業家
- 観光(旅行主任者試験) ● 行政書士試験 ● 日本語教師 ● システムエンジニア ● 政治関係 ● 大学院進学など

MORE INFO

さらに詳しい
学部学科案内は
WEB、スマホで!





現代教養学環

SCHOOL OF
ARTS AND
SCIENCES

学環長からのメッセージ

まだ自分を決めなくてもいい。学びながらなりたい自分を探す4年間。

将来が決められない、まだ決めたくないと思いませんか。そんな人に、現代教養学環は無数のチャンスを提供します。未知のことを新しい方法で学び、体験する。勉強が面白く、圧倒的に楽しい。そうした4年を過ごしながら、一人前の、なりたい自分になってもらうための場所が、この現代教養学環です。皆さんがそれぞれに描くどのような未来であっても、時代を生き抜くために必要な資質・能力は共通です。現代教養学環はその力を養うので、どんな仕事にも役に立つのです。

並木 浩一 教授 [メディア論 / 表象文化論 / 日本語教育 / 行政法務]



現代教養学環



現代社会の本質をとらえ、より良い未来を築く、それが現代教養です。現代教養学環には、社会に不可欠な5つの専門コースがあります。現代社会を5つの視点でとらえ、幅広く、深く学びながら、将来を一緒に考えましょう。

※コース選択は入学後も可能



社会の中で生きる人間のこころと行動に関わる様々な理論を学びます。心理学の思考と理論を土台にして現代社会の諸問題を心理学的視点から読み解き、課題解決に貢献する人材を育成。

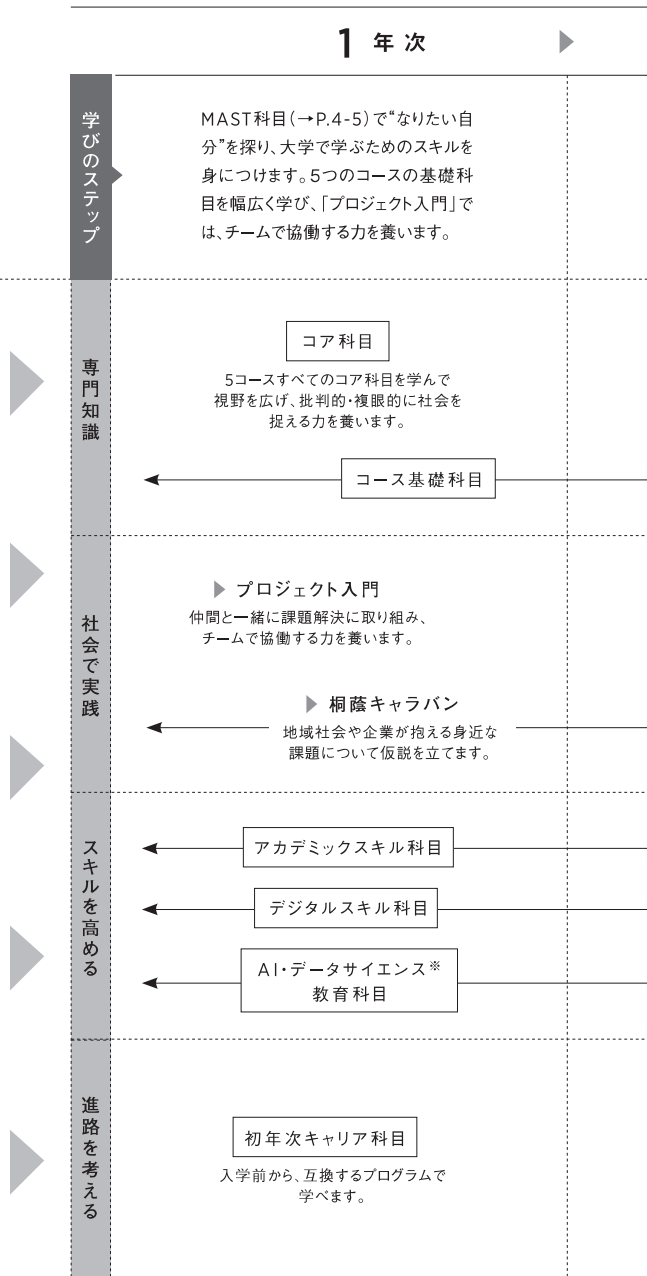
社会学の理論を土台として、行政や産業、観光などから社会のありかたについて学びます。身の回りの地域に留まらず日本社会が抱える構造的課題の解決に貢献できる人材を育成。

マーケティング理論を中心に、起業家精神や現代社会特有のビジネスのあり方を学びます。激しく変化する社会のなかで新たな価値を創出し、社会の持続可能な発展に貢献する人材を育成。

言語や文化を中心に異文化コミュニケーションの理論を学びます。グローバル社会の一員としての自覚をもち、豊かな国際感覚を身につけ、多文化共生社会の実現に貢献する人材を育成。

工学を中心にエネルギー問題や地球温暖化などの課題を克服し、脱炭素化社会を実現するための知識・技術を学びます。環境と経済を両立し、持続可能な社会づくりに貢献する人材を育成。

現代教養学環の
個性豊かなプログラム



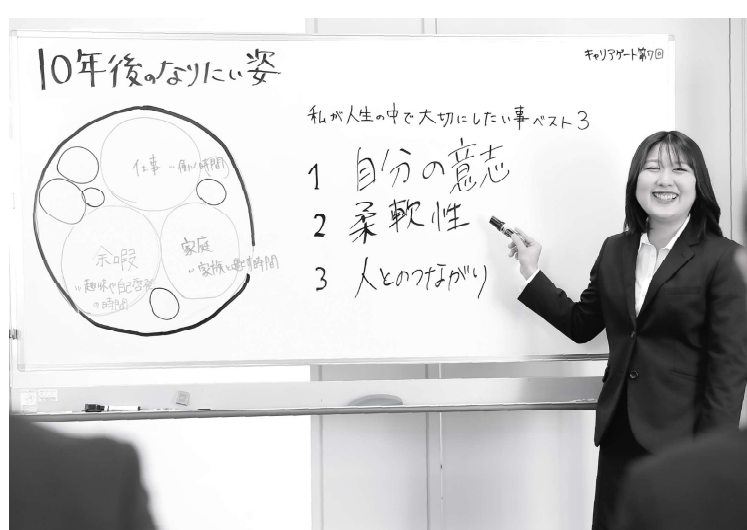
MAST MAST program for life careership

大学共通の科目群で幅広く学ぶ

キャリア教育、アカデミックスキル、データサイエンス、英語など「基盤」となる力を学びます。現代教養学環の5つの専門コースの基礎となるコア科目をすべて履修し、幅広い教養の素地を身につけ、社会を様々な角度から比較・検討し、課題を解決するための視点を養います。

ミライの自分のために… 人と差がつく プログラム

現代教育学環の取り組み



入試前から一緒に学べる

学びの環入試／探究型入試（総合型選抜）

「入学前から私たちと一緒に学びませんか」という思いを込めた入試方式です。学びの環入試は、オープンキャンパスなどで開催されるワークショップ型の授業に参加し、その成果を小論文として提出する方式です。小論文は提出後、ワークショップを担当する教員たちが評価観点に沿って添削します。そのフィードバックを参考にして再度修正した小論文を提出し、基準を満たすと、修了証が授与されます。出願時に修了証を提出することで、入試の小論文は免除されます。探究型入試は、事前に公開されるテーマについて調べ学習を行い、ノートを持ち込んで受験する方式です。テーマは現代教養学環の5つのコースから出題され、大学入学後に学びたいと考えている興味のある好きなテーマを選択できます。

プレゼンテーション能力をUP

プレゼンテーション道場100

現代教養学環で身につけ、生涯役に立つ強力な「武器」が、高いプレゼンテーション能力です。皆さんは、卒業までに100回以上のプレゼンテーションを経験することができます。授業の中で、学修成果を発表することはもちろんのこと、授業以外の場面で、大学主催のプレゼンテーション大会や、外部のイベントやコンテスト、学会などの様々なプレゼンの機会を学生に提供します。誰もが、人前で話をするのは緊張します。はじめはうまくできないかもしれませんが、それでも、準備をし、練習を重ね、本番に臨みます。本番後にはフィードバックをもらい、次回に生かします。大学4年間、このサイクルを回し続けることで、プレゼンスキルを向上させるだけでなく、場数を踏んできたという経験が、自信につながります。

Q & A

Q: 学環とはなんですか？

A: 教員と学生が一緒になってつくる「学びの環」を、私たちは学環と名づけました。入学先としての学環は「学部」と実質的には変わらないものです。卒業時には桐蔭横浜大学・現代教養学環卒業という学歴が得られます。いっぽう従来の学部と異なる点は、学部の名前に縛られることなく、幅広い分野を新しい方法で学べることです。



Q: どんな学生が向いているのでしょうか？

A: 様々なことにチャレンジをするなかで、将来の“なりたい自分”を探究したい人を歓迎します。また現代教養学環では、4年間でいくつものプロジェクトを経験し、課題解決能力を高めていきます。そうした力を生かして、自らアイデアを出し、仲間と協働して、よりよい社会を実現していくことに意欲のある人を求めています。

Q: どのようにしてコースを選択しますか？

A: 1年次には5つのコースの基礎科目を幅広く学びながら自分の興味を探り、2年次の基礎ゼミナールでは研究室をローテーションで回ります。その後、希望する2つのコースの専門科目を中心に学び、3年次から最終的に進むコースを決定します。

Q: 実習系の学びにはどのようなものがありますか？

A: 「プロジェクト入門」(1年次)、「分野横断型プロジェクト」(2年次)、「フィールドスタディ」(1～2年次)、「知識集約型研究プロジェクト」(4年次)のように様々なプロジェクト型学習に挑戦します。また3年次からは専門探求ゼミナールミに所属し、専門性を深めていきます。所属するコースや一緒に活動する企業・組織によって取り組む課題やフィールドは様々です。

授業内容（カリキュラム）についてはこちらをご覧ください。▶▶▶▶



現代教養学環